

成果指標				
成果指標	利用者数			
指標設定の考え方	本事業は、対象者への施設利用(環境)の提供であることから利用者の数を指標とする。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	目標29年度
目 標	56000	60000	60000	60000
実 績	63365	55938	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	5	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	利用者も増加し、子育て支援の一つとして事業内容も充実してきた。 今後も目新しい事業内容を提供していくように努めていきたい。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	5	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	市内外に対しての知名度も高く、利用者も増加の傾向にある。 子育て支援の施策の一環として、充実した内容の事業の展開をより一層進めて行く必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題